

コンピュータチェック事例コード

48SJ000105117 その他 7事例グループ化

コンピュータチェック内容

同日に外来迅速検体検査加算の対象検査の項目数を超える、外来迅速検体検査加算が算定された場合にチェックを実施。

コンピュータチェック根拠

外来迅速検体検査加算は、実施した対象検査の結果が当日中に全て説明等が行われた場合に、5項目を限度として、検体検査実施料の各項目の所定点数にそれぞれ加算するとされています。

検証不要(少数事例)

グラフの見方

- 棒グラフ(該当レセプトの審査結果)
コンピュータチェックの対象となる診療行為(医薬品、特定器材)を算定している目視対象レセプト
1万件当たり、当該コンピュータチェックの内容に該当したレセプト件数
- 折れ線グラフ(該当レセプトの査定・返戻割合)
コンピュータチェックの対象となった項目が
査定・返戻となった割合

【棒グラフ凡例】審査の結果

査定	返戻	: 設定根拠どおり
請求どおり 職員	請求どおり 審査委員	: 検証が必要

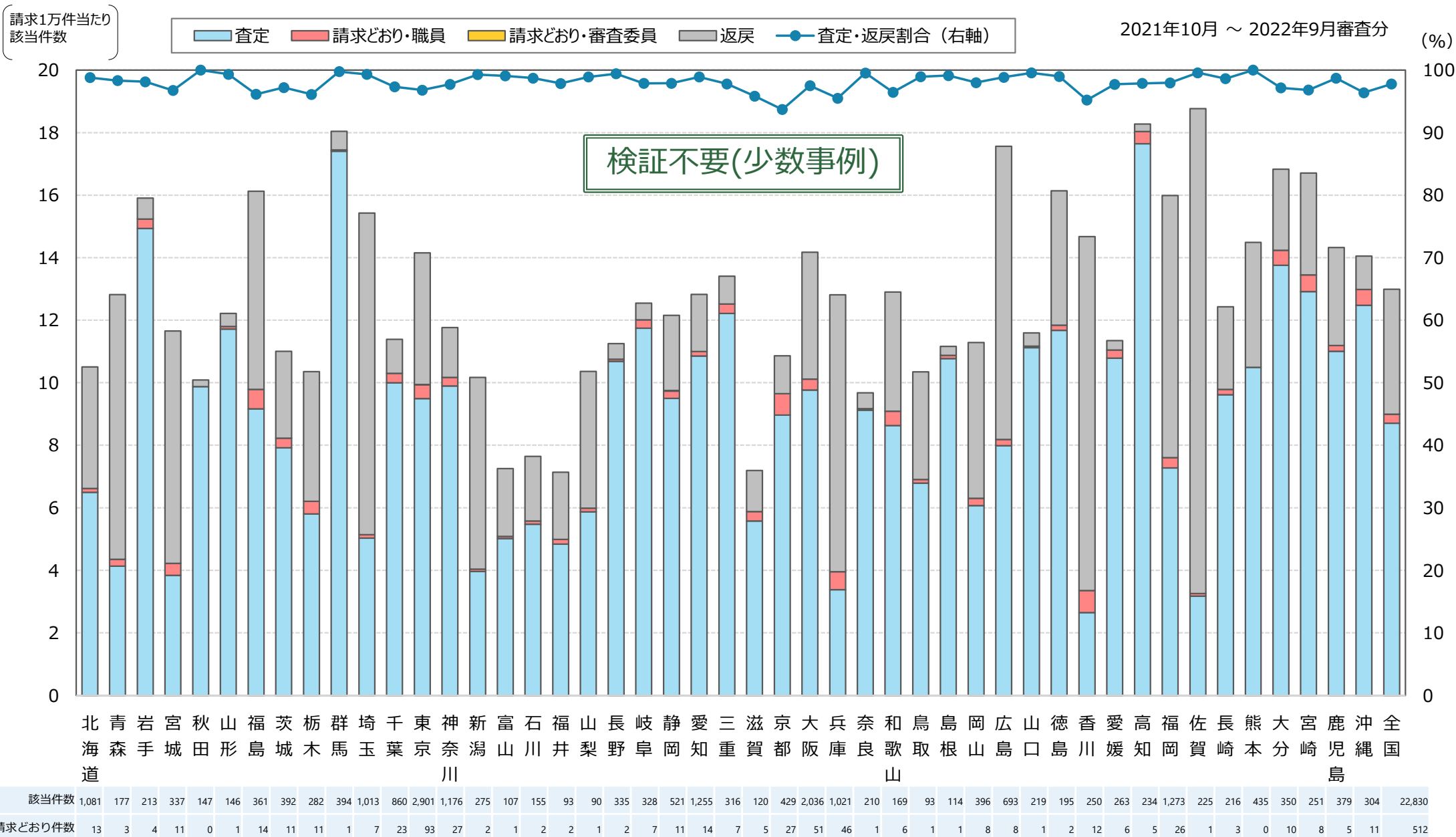
審査結果の概要

令和5年10月の少数事例の基準の整理により、検証対象都道府県はなし

- 全国の査定・返戻割合 97.76%
- 検証対象都道府県 0

検証観点	都道府県※	備考
査定・返戻割合が低い		査定・返戻割合の低い順
請求どおり・職員		対象1万件当たり件数の多い順
請求どおり・審査委員		//

該当件数(全国)	当該コンピュータチェックの内容に該当	22,830件
設定根拠どおりの審査	査定・返戻の計	22,318件
検証を必要とする審査	請求どおり	512件



【該当件数】 当該コンピュータチェックの内容に該当したレセプト件数